

## ウチで一緒に走りませんか? ガレージ情報掲示板



**NRS**  
 代表者名: 乃生 卓  
 茨城県下妻市村岡166-11  
 090-1267-8605  
 t.nose.nrs@gmail.com  
 レンタル可 スポット参戦可  
 マシン: F・ルノー (JAF F4仕様 / 2018年東日本シリーズ&日本一決定戦参戦車両)、スーパーFJ、FIA-F4  
**VOICE**  
 趣味の人から本格的な人までどんな人でも対応します。サーキットを走ってみたい、フォーミュラカーに乗ってみたいだけの人も大歓迎です。現在、70歳の人もフォーミュラカーに乗っています。



**イクサスレーシング**  
 代表者名: 渡辺義人  
 東京都北区志茂3-15-7  
 03-5939-9712  
 レンタル・販売  
 参戦体制: スポット可 (応相談)  
 マシン: WEST006 (ハナシマチューン / ホンダB18改2.0 / エンジンOH後未走行 / ミッションスタックス / ギア多数 / AP 4podキャリバー / ダイナミックダンパー)  
**VOICE**  
 他にF・ルノー2.0のJAF F4仕様マシンもあります。(2018年日本一決定戦参戦車両、販売・レンタル可)



**自動車工房ミスト**  
 代表者名: 庄司富士夫  
 三重県鈴鹿市住吉5-11-18  
 059-379-6838  
 shoji87@dream.com  
 月曜定休日  
 レンタル可  
 参戦体制: スポット可  
 マシン: KKZ複数台 / F・ルノー (応相談)  
**VOICE**  
 主な参戦ドライバー: 牧野任祐、角田裕毅、大湯都史樹、佐藤蓮、石川京侍 他多数  
 メカニックも募集 (年齢不問)



**Jitsukawa Racing**  
 代表者名: 實川久敏  
 千葉県旭市錦木866-1  
 080-5546-2195 jitsukawa.family@guitar.ocn.ne.jp  
**VOICE** 明るく楽しいチームです!

**ハンマーレーシング**  
 代表者名: ハンマー伊澤  
 千葉県四街道市和良比313-115  
 090-8116-9445  
 hammer.izawa@gmail.com http://www.hammer-izawa.com  
 マシン: ハンマーレーシング疾風 (JAF F4参戦中)

※注釈: F4開幕戦もてぎ現地調べ

## 新たなプランが門戸を開く役割を果たす



F4東西シリーズはダンロップタイヤのワンメイクレースです



F4協会HP  
[www.f4k.co.jp](http://www.f4k.co.jp)

**RACE RESULT**

**EAST SERIES**

Round 1  
 4月21日  
 ツインリンクもてぎ

# 大きなふたつの柱で新たな進化を見せる 育てるプログラム始動



2019 FORMULA 4 CHAMPIONSHIP

# JAF F4

**Paddock News** Vol.1

国内唯一開発競争のある  
 ミドルフォーミュラF4の魅力を探る

Text: 大串 信 (Makoto Ogushi)  
 Photo: 小笠原貴士 (Takashi Ogasawara) / 酒井聖一 (Seiichi Sakai)

F4はフォーミュラカーらしく動きがピーキーで最高速もFIA・F4より高くラップタイムもはるかに速い。FIA・F4の練習には最適だ。実際、これまでFIA・F4で好成績を収めた選手の少なからぬ人数がJAF F4から育ち、ふたつのシリーズに参戦をして練習してきた。

たしかにFIA・F4はトップチームからの注目度が高くステップアップの機会も得やすいが、本格参戦には膨大な費用がかかる。しかしFIA・F4の前にJAF F4で自分の腕を磨けば、無駄な出費を抑えることができる。こうした考えから、上位カテゴリーをを目指す若いドライバー、女性ドライバーを支援しようというのがこの新たなプランである。

まず、JAF F4車両を所有するオーナーを登録する。その車両をレンタルしてレースに出る若い選手たちのエントリー料は協会が最大半額までサポートし、車両のオーナーにはレースの成績に応じてポイントを付与し、規定に応じた表彰を行なう。ドライバーは早く早いフォーミュラカーでレースを受けられるという一石二鳥プランである。このシステムは、メーカー系の育成プログラムに加われない選手たちにもフォーミュラカーレースの門戸を開く役割を果たそうだ。

これによってガレージに眠っている車両が活用されれば、JAF F4のレース自体が活性化して戦いのレベルがあがり、低コストで高いレベルのフォーミュラカーレースができるJAF F4の価値が上がっていくはずだ。ふたつの新方針に沿って運営される今季のJAF F4、どんなマシンが現れるのか、どんなドライバーが生まれるのか、そしてどんなレースが繰り広げられるのか、その進化についてはこれからも逐次レポートしていく。

彼らの情熱や能力を思う存分発揮してもらいたいというのが今季のF4協会が打ち出した方針である。とはいえFIA・F4より高出力のエンジンを採用したフォーミュラカーの場合、その安全性を確保することは容易ではない。そこでJAF F4では18年はフォーミュラルノー、そして今年からは旧年式F3のモノコックをサブバイバルセルとして公認し、それをベースに低コストでJAF F4が作れるよう車両規則を

改定した。昨年は早速フルノーベースのマシンが複数現れ、「あいつのところはこんなことをしてきた」「こいつのところはあんな作りしてきた」とレースの現場ではモノ作り戦士たちが楽しそうに悔しそうに語り合っていた。今年はこちらはF3ベースの車両が加わり、さらにモノ作りは活性化すると思われる。F3のサブバイバルセルを流

用するにはひとつの壁がある。現在JAF F4で公認されているエンジンはF3のモノコックにそのまま搭載することができないため、エンジンをどう積むかという課題を克服してマシンを仕上げる必要がある。そこにどんなアイデアや技術が使われるのか楽しみだ。マシンのバリエーションが増してJAF F4はその魅力の幅も広げる

ことになりそうだ。モノ作りの魅力とともに、マシンに乗り込むドライバーも幅が広がることになりそうだ。今季「ヤングandレディーストドライバーサポート」プランを運用するとF4協会が発表した。近年、JAF F4はFIA・F4へのステップアップや練習のためのカテゴリーとして機能している。JAF